

緊急注意喚起情報

米づくり技術情報 No.19

令和8年8月25日

斑点米カメムシ類 依然として多い！ 補完防除の実施を検討しましょう！

やまがた温暖化対応米づくり日本一運動本部

病害虫防除所から斑点米カメムシ類に関する「病害虫発生速報」が発表されました。水田内の斑点米カメムシ類の発生量が多くなっています。

◎当面の技術対策

■発生状況

病害虫防除所が全県を対象とした8月後半（8月17～19日）の水田内におけるすくい取り調査では、斑点米カメムシ類の平均すくい取り虫数が3.0頭（平年1.2頭）と平年の2.5倍の多さになっています。

特に、水田内にイヌホタルイやノビエが残草している圃場において、発生が多くなっています。

■防除対策

- ・各地域において、生産者と関係機関とで補完防除の実施を検討しましょう。
- ・防除の実施前には、斑点米カメムシ類のすくい取り調査を行って、地域内の発生状況を把握します。
- ・補完防除は、基本防除2回目の7～10日後を目安に行い、薬剤の使用基準をよく確認して収穫前使用日数を厳守します。

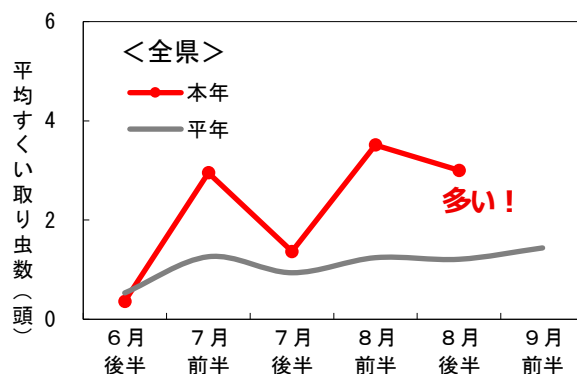


図1 水田内の斑点米カメムシ類の平均すくい取り虫数の推移

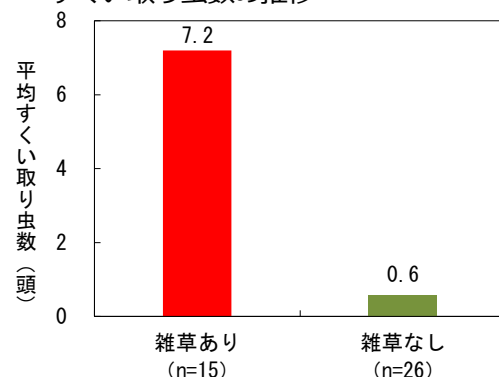


図2 水田内雑草発生有無別の斑点米カメムシ類平均すくい取り虫数
※すくい取り調査（8月17～19日）



図3 ノビエの多発した圃場

農薬はラベルをよく読んで使用しましょう！

山形県農薬危害防止運動実施中 令和8年6月1日～8月31日